

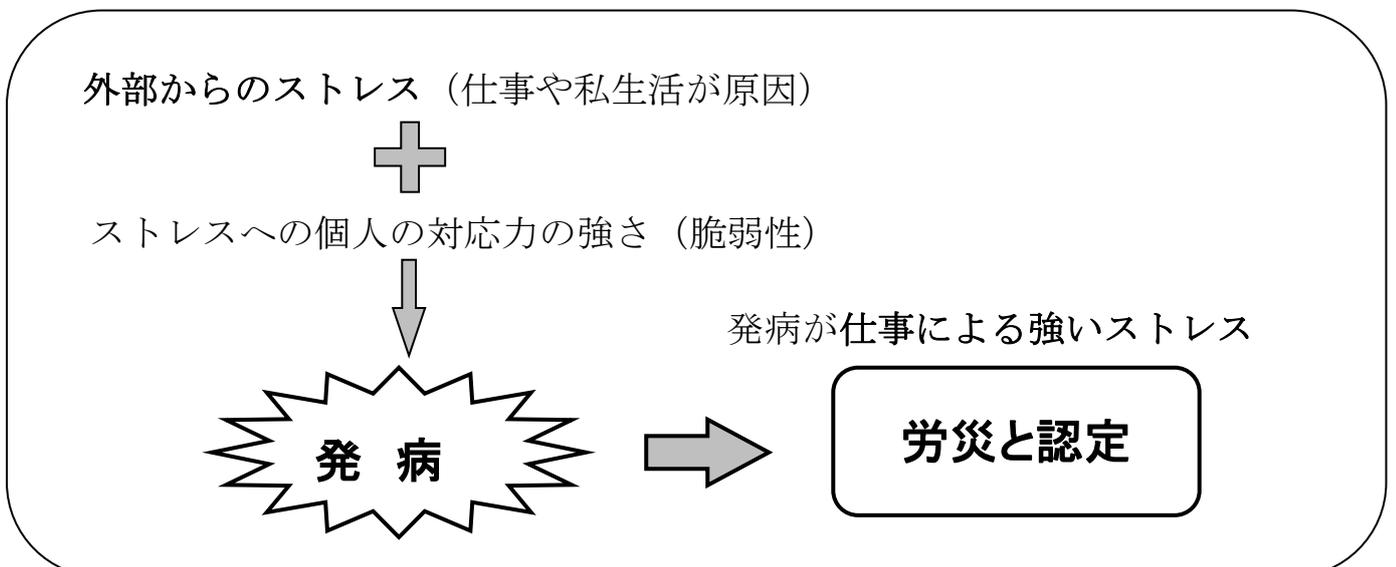
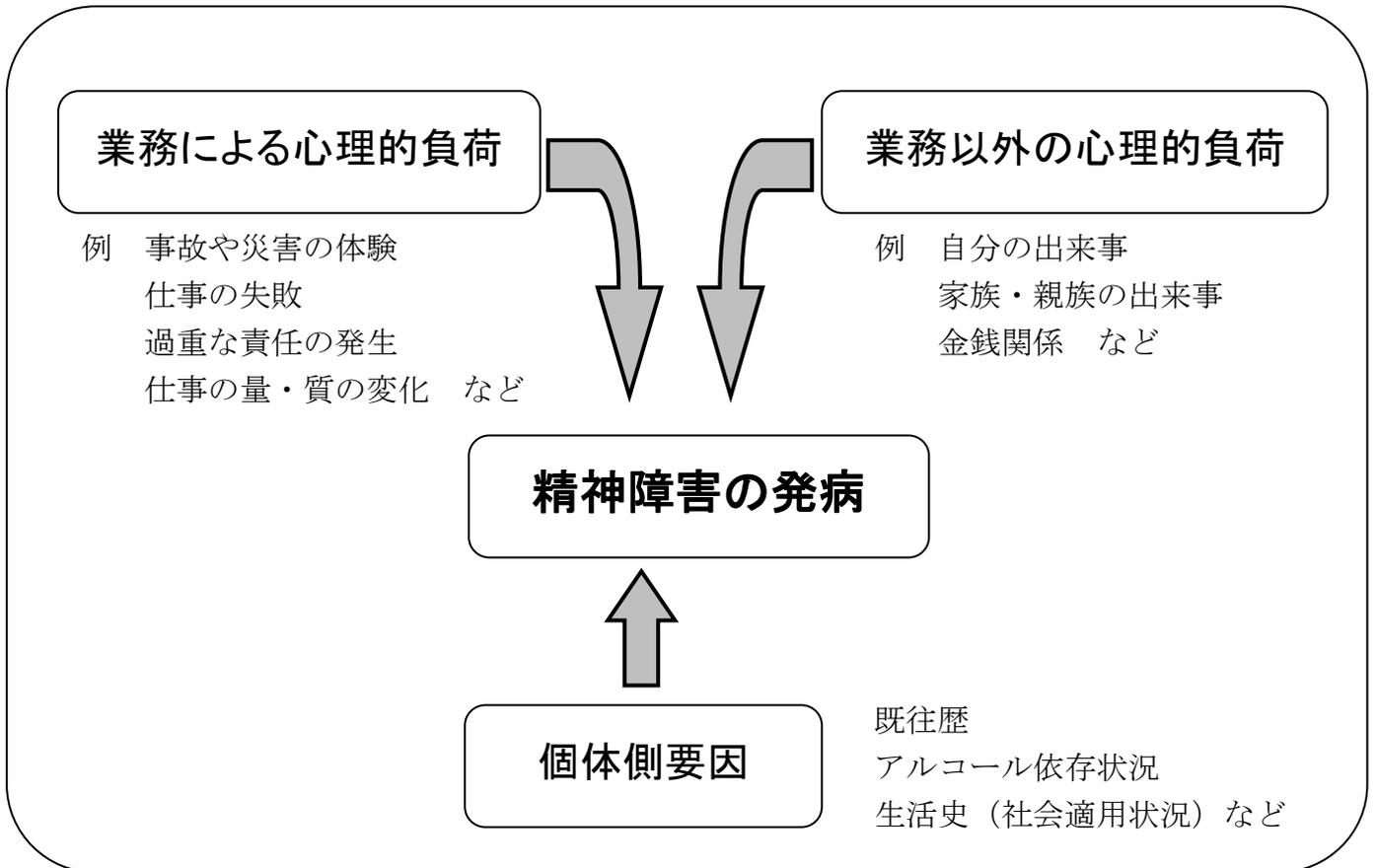
精神障害の労災認定

精神障害を発病した場合の労災認定基準について

令和元年 8月 7日
青梅労働基準監督署

1 精神障害の発病についての考え方

精神障害は、さまざまな要因で発病します



2 精神障害の労災認定要件について

第1 対象疾病

I C D - 1 0 (国際疾病分類第10回修正版) 第V章

F 0 症状性を含む器質性精神障害

F 1 精神作用物質使用による精神および行動の障害

F 2 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害

F 3 気分〔感情〕障害

F 4 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害

F 5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群

F 6 成人のパーソナリティおよび行動の障害

F 7 精神遅滞〔知的障害〕

F 8 心理的発達の障害

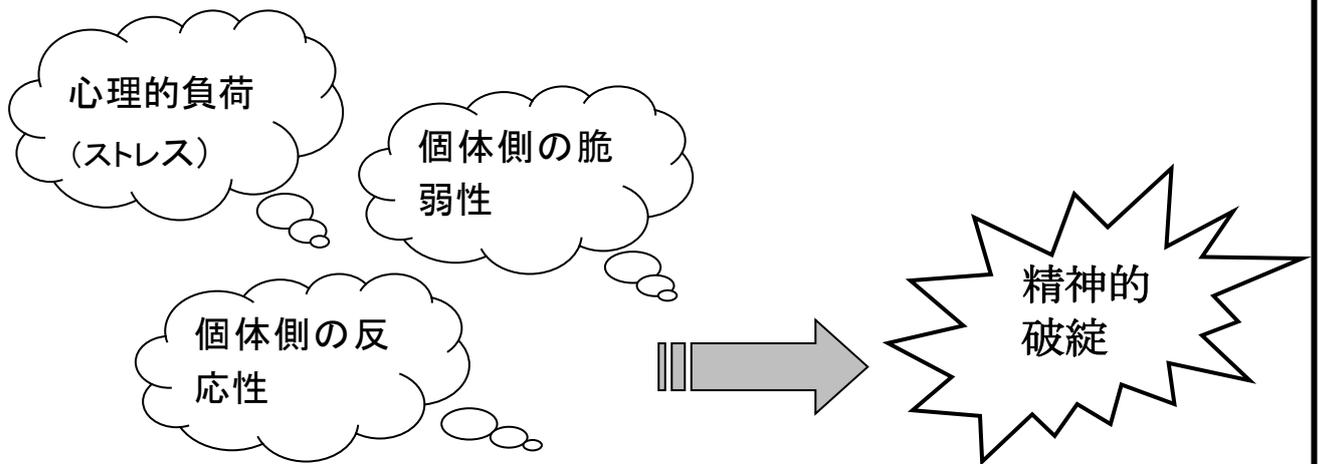
F 9 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害、
特定不能の精神障害

上記「**対象疾病**」のうち業務に関連して発病する可能性のある精神障害は、主としてI C D - 1 0 第V章のF 2 からF 4 に分類される精神障害である。

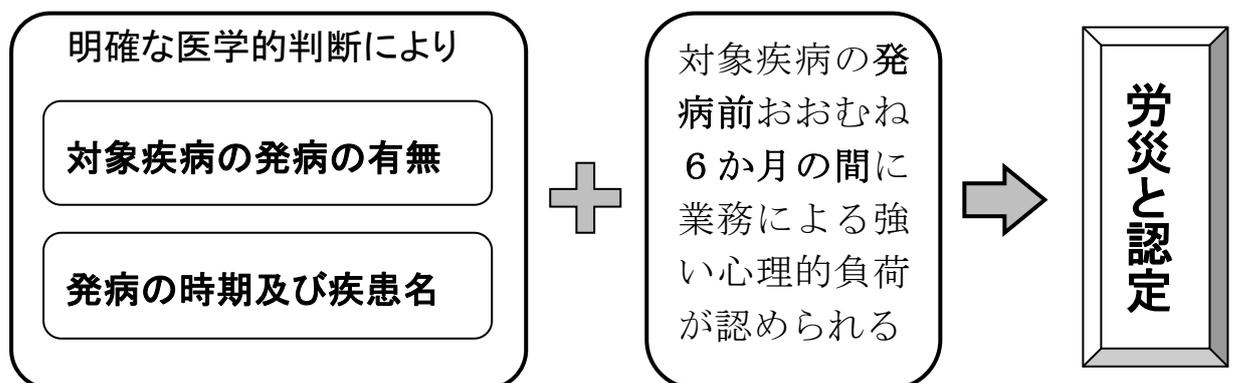
第2 認定要件

- ① 対象疾病を発病していること
- ② 対象疾病の発病前おおむね6か月の間に、業務による強い心理的負荷が認められること
- ③ 業務以外の心理的負荷及び個体側要因により対象疾病を発病したとは認められないこと

認定要件に関する基本的な考え方

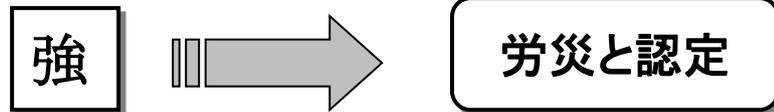


認定要件の具体的判断



第3 業務による心理的負荷の強度の判断（発病前6か月）

- ① 「特別な出来事」に該当する出来事がある場合



- ② 「特別な出来事」に該当する出来事がない場合



※ 総合評価「中」「弱」は労災認定されません。

業務による心理的負荷評価表により判断

「特別な出来事」

- ① 心理的負荷が極度のもの
- ② 極度の長時間労働

「特別な出来事以外」

- ① 事故や災害の体験
- ② 仕事の失敗、過重な責任の発生等
- ③ 仕事の量・質
- ④ 役割・地位の変化等
- ⑤ 対人関係
- ⑥ セクシュアルハラスメント

心理的負荷の強度の具体的判断

「特別な出来事」に該当する出来事がある場合

心理的負荷の総合評価を「強」と判断し労災認定

「特別な出来事」に該当する出来事がない場合

① 「具体的出来事」への当てはめ

「心理的負荷評価表」の平均的な心理的負荷の強度

具体的出来事

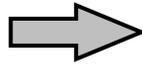


心理的負荷の強度「Ⅰ」「Ⅱ」「Ⅲ」

② 出来事ごとの心理的負荷の総合評価

「心理的負荷評価表」の具体的出来事に示された具体例

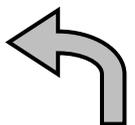
具体例に合致



強

中

弱

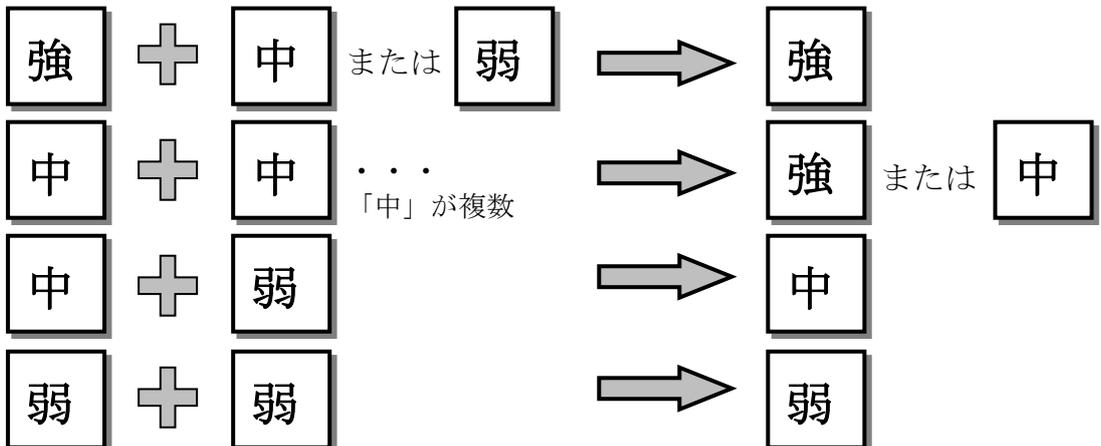


具体例に合致しない



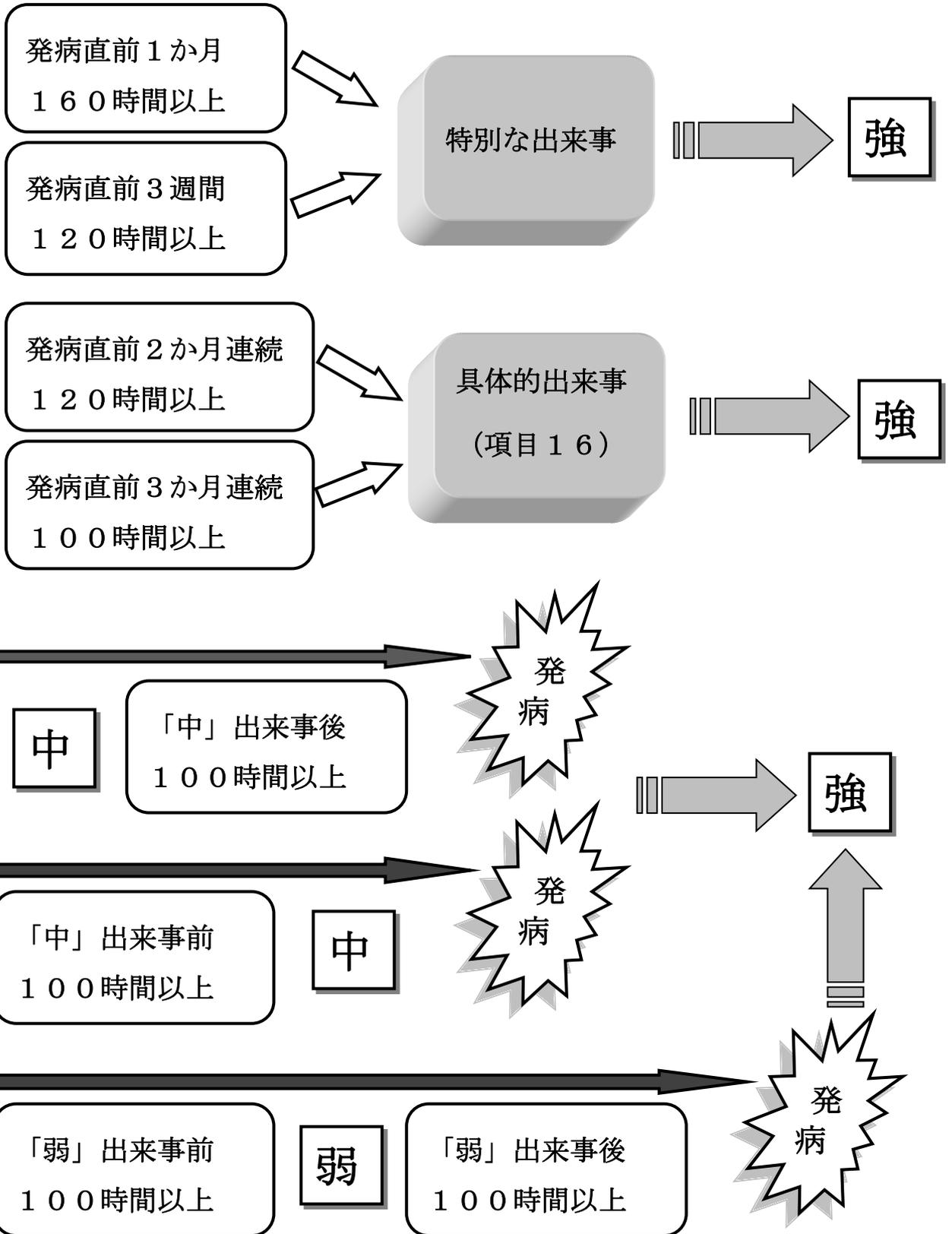
心理的負荷の総合評価の視点

③ 出来事が複数ある場合の全体評価



長時間労働がある場合の評価

時間外労働時間数（週40時間を超える労働時間数）



第4 業務以外の心理的負荷及び個体側要因の評価

